

繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

Tel 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

さあ、ひとすじに

去る一月二十六日、教祖百四十年祭を無事に迎えさせていただきました。繁藤につながる皆様におかれましては、論議をはじめ大教会の活動方針のもと、年祭活動にお励みくださり、また真実の御供を運んでくださったこと、心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

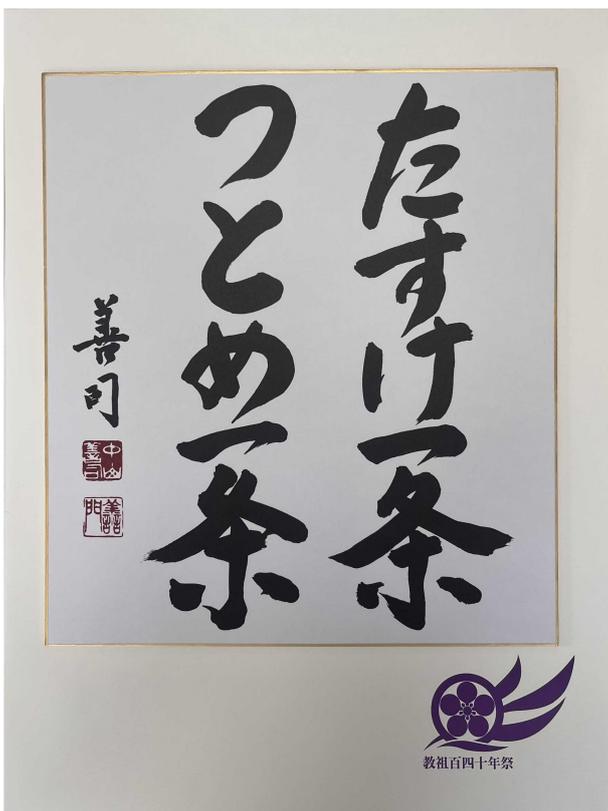
さて、教祖年祭はゴールであり、スタートでもあります。一つの区切りを迎えた中で、今私がしていることがあります。それはこの三年間を振り返り、これからの歩み方を思索することです。正直、最初は年祭が終わって「ホッとした」という気持ちが大きかったです。今は違います。繁藤につながる皆様と一緒に、これからの道はどう歩んでいくのかを考えながら、ワクワクした心が湧き上がっています。

もちろん不安もあります。上手くいくことばかりではないことも分かっています。皆それぞれ置かれている環

境や状況（場所、年齢、お金、周りの人など）も異なり、どうしたらいいんだろうという迷いもあります。

そんな思索を巡らせていたつい先日、おちばで開いてくださった教会長御招宴の席で、真柱様から以下のお言葉を頂戴しました。繁藤につながる皆様だけにご紹介させていただきます。

おかげをもらって、百四十年祭は滞りなくつとめ終えさせていたことができました。しかしながら、年祭というものは、この先も続く陽気ぐらし世界への、長い長い道を誤りなく歩んでいくための一つの節目であって、私たちらはこれからまた自分たちの信じる道を目的地向かって歩んでいくのであります。



皆さんが預かってくださっている教会は、教えを伝え、ひろめるために必要
な土地と、その拠点であります。その教会が親神様の思召にかなう姿、そ
れは規模が大きいとか、小さいとか、そういうものではなく、中にはある雰囲気
が、思召にまわしく、陽気であることだと私は思っておりますが、その姿に
ご守護いただけるように、先頭に立つつとめるのが教会長の使命なのであ
ります。これからいろいろな事が起こってくるかもしれませんが、教祖のひなが
たを見失うことなく、勇んで教会長の勤めとつとめていただきます、と思いま
す。

なお、今回の年祭の教会長の記念品として、色紙を用意いたしました。昨
日から配布しておりますので、もう見た方もおられると思いますが、教会の
活動は、これをおろそかにしてはならないという気持ちで書いたものです。ど
かに置いてもらったらいいかと思えます。

〔令和八年一月二十八日 教会長御招宴にて〕

頭では分かっている、当たり前前ともいえること。しかし、このタイ
ミングでこのお言葉をくださった真柱様の真意を思索するとき、あら
ためてこのお道は陽気ぐらしに向かつて、どこまでも素直に、陽気な
心で、ただ真つ直ぐに歩ませていただくものだ。そう思った教会長は

私だけではなかったはずです。これからの繁藤の道に対して、希望
の心が一層強まった、そんなありがたいお言葉でありました。

最後に、来月三月二十一日の月次祭後に「在籍者・教会長夫妻の
集い」を開催します。そこで新たな繁藤大教会の活動方針を発表す
る予定です。また続いて夜に、ささやかではありますが、教祖年祭
を終えて慰労の気持ちを込めた懇親会の場を設けさせていただきます
す。教会長をはじめ老若男女、大勢の方にお越しいただきたいと思
いますので、奮ってご参加ください。皆様とともに、この先の明る
い繁藤の道について語り会えることを楽しみにしています。

立教一八九年二月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【五教百八十九年 春季大祭 祭文】

これの繁藤大教会の神存にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様には、月日にわにんけんはじめかけたのわよふきゆさんがみたいゆへから、この深い思召のまにまに、この世人間をお創め下され、更には旬刻限の到来と共に、教祖をやしんとしてこの世の表にお現れになり、長の年限変わらぬ御守護と尽きせぬ親心をもつて時の臨み、旬に念じてお仕込み下され、お育て下さいませ御慈愛の程は譬えるに物はなく、たゞたゞ有難い極みでございます。その中にも今日の吉き日は年毎の春の大祭を執り行う日柄でございますが、わけても今年には、扉開いて世界ろくぢにふみならずと子供可愛い一条から教祖が二十五年先の定命をお縮めになり、現身をおかくし遊ばれてより百四十年を数える年にあたります。当教会におきまして、教祖年祭の元一日の理に深く思いを致し、只今からおとめ奉仕者のようばく一同、心を一つに令わせ真剣に座りづとめ、てをどりをとめ、教祖百四十年祭の年の春季大祭を執り行わせて頂きます。御前には折柄の寒さの中を遠近を向わず馳せ参りました縁の道の子供たちが、共におうたを唱和し、日頃賜る厚き御恵みに御礼申し上げ、尚も御恩報じの前進をお誓い申し上げる真実の状を御覽下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

また加えて本日は、本部准員の山田清三先生にお入り込み頂き、後ほど御講話を頂戴致します。御講話をしつかりと拝聴し、月日のやしろである教祖をひながたの親として一層お慕い申し上げる契機とさせて頂きたく存じます。私共教会長を始めようばく一同は、このたびの教祖年祭を迎えるにあたり、これを成人の節目として、只管に親心にお応えさせて頂きたいと、明日に希望を、今日を陽気に、のスローガンのもと、にをいがけ、おたすけをはじめ、各教会における仕切り月の月次祭、ようばく一斉活動日、ならばな会おぢば帰り団参ど、様々な形で三年千日の年祭活動を勇んで取り組んで参りました。その道中、限りなく深く厚い親心をもつてお導き、お連れ通り頂きましたことは誠に有難く、ここに言改めて厚く御礼を申し上げます。私共は教祖百四十年祭まで残り五日となった今、意義深い日を迎える中に、教祖の親心を噛み締めつつ、新たな門出として心を引き締め、より一層たすけ一条に歩ませて頂く決意を固めさせて頂く所存でございます。何卒この誠の心定めをお受取り下さいまして、親神様の自由の御守護のまにまに、一日も早く世界一れつ陽気ぐらしの世の状に立ち直りますようお導き、御守護の程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会 立教百八十九年春季大祭 祭典役割》

祭主	指図方	扈者	賛者	賛者	男		女		地方	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話						
					座りづとめ	大教会長	前大教会長	田村辰久												大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	坂本久徳	為田基紀	安部道郎
大教会長	坂本久徳	佐藤栄治	伊藤正福	空閑慶吾	座りづとめ	大教会長	前大教会長	田村辰久	大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	坂本久徳	為田基紀	安部道郎	宮田孝道	為田紀久男	藤田憲明	藤田久徳	田村英士	村上英治	佐藤栄治	佐藤順子	藤田洋美	村上美栄子	山田清三先生
田村聡佐	立花真一郎	佐々木恵	田村省悟	村上由高	八足出し	てをどり前半	てをどり後半	空閑慶吾	空閑慶吾	伊藤正福	空閑慶吾	渡辺道仁	立花真一郎	藤田善典	藤田聡佐	田村聡幸	村上由高	為田賢子	田村睦美	佐藤文代	宮田みなみ	佐藤文代	宮田みなみ		

【神殿講話】

(2月) 大 教 会 長

【しげとらtime おかえり講話】

(2月) 田 村 辰 久
テーマ「おちばがえり」

【教会長神殿当番】

(2月) 武富士・高 阪
(3月) 城 攝・新居濱

【詰所教養掛】

(4月) 空 閑 慶 吾
坂 本 信 子
(5月) 安 部 道 郎 (前半)
藤 田 誠 (後半)

【詰所事務当番】

(2月) 前 田 優 一
(3月) 星 野 善 胤

【ひのきしん】

○本部食堂ひのきしん
5月16日～30日 種 崎
11月1日～15日 別 府
○婦人会詰所ひのきしん
2月25日～26日 城 下 (2名)

【登 用】

役員 空 閑 一 教 (添 田)
准員 竹 下 隆 廣 (方 城)
高 橋 道 則 (武富士)
坂 口 正 幸 (本 訓)
佐 藤 一 三 (紋 膽)
渡 邊 道 仁 (紋 湧)
藤 田 誠 (児島郷)
青 年 藤 田 慶 一 郎 (城 下)
婦 人 佐 藤 明 子 (藤 高)
准婦人 阪 本 喜 代 子 (地ノ島)

【年祭活動総括の提出について】

御本部より、各教会でのこの度の年祭活動
について、総括の依頼がございました。各教
会にはこの月報に、その趣旨と記入用紙を同
封致しております。趣旨をご確認頂きまして、
今月21日迄に大教会まで必ずご提出下さいま
すようお願いいたします。(ファックス可)

【在籍者・教会長夫妻の集い】

3月21日に「在籍者・教会長夫妻の集い」
を祭典終了後に開催させて頂きます。詳細に
つきましては後日お知らせ致します。大勢ご
参加頂けますよう、心づもりの程、よろしく
お願いいたします。

【婦人会】

◇天理教婦人会第108回総会

『別席者ともども』

式 典 立教189年4月19日(日)
午前9時30分
場 所 本部中庭、南・東礼拝場前、
西境内地

※式典終了後、支部の集い(詰所4F大広間)
※式典後、当日いただいたお言葉の振り返りを
いたします。

たくさんの方にお集まりいただけますよう、
お声がけよろしく願っています。

◇記念行事『講演会』

日 時 4月18日(土) 午後5時
テ ー マ 「おやさま」
場 所 ・第2食堂(第5食堂 映像)
・東講堂(旧別席場 音声のみ)
・東右第1棟4階講堂

【少年会】

◎おつとめまなび総会

立教189年3月30日(月) 9:30
参加費 1人 1000円
おつとめ役割
座りづとめ 各隊代表でつとめる

よろづよ八首、1・2下目 西田川隊

3・4下目 垣生隊

5・6下目 直属・藤高・佐岡

高杉・高阪隊

7・8下目 本山・馬関・別府

飯武・藤広隊

9・10下目 城下・種崎隊

11・12下目 各隊代表でつとめる

昼食はカレーとさせて頂きます。模擬店・

室内オリンピックをさせて頂きますので各直

属から当日2・3名のひのきしんをよろしく

お願いします。

子供も少なくなっていますが、役割の足らな

いところは大人の方のお手伝いをお願いしま

◎研修員募集

少年会本部では、おぢばでの様々な研修や

ひのきしんなどの伏せ込みを通して、縦の伝

道を活発に推進していく人材を育成します。

道につながる多くの若者たちが、この研修を

修了し、国内外で少年会活動の中心となって

活躍しています。多くの仲間と共に少年会活

動について学びたい方は団長までご連絡くだ

さい。

募集人数 30名

出願期間 令和8年2月28日まで(必着)

出願資格 団長が推薦し、直属教会長が認

めた者・ようぼく

(おさづけ拝戴予定の者も可)

【学生会】

◎教祖140年祭 おぢばがえり大会

日時 3月28日 10:00～11:00頃

終了後参加者全員でおつとめ

会場 本部中庭

テーマ 「みんなで勇んで、みんなで作る、

優しさと笑顔あふれる大会を」

趣旨 教祖140年祭を迎え、この旬に、道

につながる学生がこぞつておぢば

に帰り集い、真柱様のお言葉を心

に治め、次代を担うようぼくへと

成人していくことを決意する。

対象 高校生(新1年生を含む)

大学生・短期大学生・専門学校生

大学院生 など

左記の要項で開催されます。対象になりま

す学生さんにお声がけ頂き、各教区よりご参

加下さい。また、当日だけの参加でも結構で

◎学生生徒修養会

「大学の部」が、3月4日～8日まで、「高

校卒業生コース」が、3月10日～12日までの

日程で開催されます。対象になります学生さ

んにお声掛けの程、よろしくお願いします。

申込み締切りは2月15日迄です。左記のQRコ

ード・URLより、詳細をご覧頂けます。



学生おぢばがえり大会 PR ビデオ



<https://happist.net/event>

【初席者(12月)】

地ノ島 久保田 結

地ノ島 久保田 愛

【教人資格講習会】

城下 川崎 昌彦

城下 川崎 秀士

【教人登録】

空心 田村 柊

教祖140年祭 三年千日の活動方針

明日に希望を、 今日を陽気に

～ひながたを心に、プラスワンの誠真実を～

実践目標

教会に人をお連れし、たすかる道を伝えよう
誠の理を、日々に働かそう
おさづけの取り次ぎ、チラシ配りの推奨
天理カードの登録推奨（目標 10,000人）

教えに親しみ、ひながたを心の頼りに明るく歩もう
信者の葉を毎日拝読する
ご守護に気づき、身近な人に信仰を伝えよう
お道と社会に貢献できるようほくを育てよう

ふしから芽が出るご守護をいただこう
心を定め、日々の理づくり・徳積みに励もう
「声は肥」旬を外さないよう+1の声かけを
月次祭を賑やかに勤めよう（仕切り月の実施）



繁藤公式 LINE で講話やブログなどを配信しています。
ぜひご登録ならびにご紹介をお願いします。



天理教繁藤大教会
SHIGETO